

帳票発行ツール

操作説明書

Ver. 2.0

このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合のみ使用することができます。

著作権

Copyright (c) 2010-2014 AP-REFINE Inc. All Rights Reserved.

このマニュアルの一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

商標

MicrosoftおよびWindowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

はじめに

この度は当社ソフト『帳票発行ツール Ver. 2.0』（以下「帳票発行ツール」と表記）を採用頂きましてありがとうございます。

帳票発行ツールは、データファイルの内容をレイアウトに差込み、プリンタから自動連続印刷又は、選択印刷により帳票を印刷することができます。

帳票発行ツールをご使用いただく前にインストール時に表示されますソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

製品の仕様は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

2014年4月

<目次>

	ページ
はじめに	1
目次	2
1. 機能概要	3
(1) 主な機能	3
(2) 対応機器	3
(3) ハードウェア構成	3
2. インストール・アンインストール方法	4
(1) インストールの手順	4
(2) アンインストールの手順	4
(3) ツールの再インストール	4
3. 動作環境の設定	5
(1) 設定ファイル	5
(2) 設定の変更方法	5
(3) 印刷イメージの作成	8
(4) 画像ファイルの配置	9
4. 起動方法・画面操作	10
(1) 起動方法	10
(2) 印刷モニター画面の操作方法	10
(3) 印刷待ち一覧画面の操作方法	12
(4) 機器情報画面の操作方法	13
(5) プリンタエラー時の操作方法	14
(6) 受付履歴からの印刷操作方法	16

1. 機能概要

帳票発行ツールは印刷データファイルの内容をレイアウトに差込み、プリンタで印刷するイメージのデータを作成し帳票を印刷します。

プリンタの状態監視を行い、プリンタエラーが発生した場合にエラーの内容やメンテナンス時期、ヘッド交換時期をランプの色により利用者に通知します。

(1) 主な機能

◆印刷

- ・リライトカードプリンタでの印刷、RFIDの書き込み
- ・サーマルラベルプリンタでの印刷
- ・Windowsプリンタでの印刷
- ・モバイルプリンタでの印刷
- ・自動連続印刷、選択印刷、バックアップからの印刷

◆プリンタ状態チェック

- ・プリンタエラー監視
- ・使用状況の監視
- ・ネットワーク (LAN) の接続監視

(2) 対応機器

◆リライトカードプリンタ

- AP-4300シリーズ (AP-4300, AP-430A, AP-430B)
- AP-4380シリーズ (AP-4380, AP-438A, AP-438B)
- AP-4390シリーズ (AP-4390, AP-439A, AP-439B)
- AP-4360シリーズ (AP-4361, AP-436B, AP-436C)

◆サーマルラベルプリンタ

- AP-4330シリーズ (AP-4331, AP-4334, AP-4339, AP-433B, AP-433C)
- AP-4352
- AP-4355
- AP-435A/435B

◆モバイルプリンタ

- AP-0922/0924

◆Windowsプリンタ

- 本ツールの対象OSにインストール可能なプリンタ

※対応機種は2009年12月時点のものとなります。

新製品のリリースにより、対応機種を変更する場合があります。

(3) ハードウェア構成

推奨環境

- OS : Windows 7 Service Pack 1
Windows XP Embedded with Service Pack 3
Windows XP Service Pack 3
Windows2000

- CPU : 最低500MHz以上のCPU

- メモリ : 最低256MB以上 512MB以上のメモリを推奨

- ソフトウェア : .NET Framework2.0以降

- ディスク空容量 : 6MB以上

(データファイル、レイアウト定義ファイルの保存容量は含みません。)

2. インストール・アンインストール方法

本ツールをパソコンで使用できる状態にするには、インストールプログラムでパソコンに動作環境を作成する必要があります。
プログラムをパソコンから削除する場合は、アンインストールすることでインストール時に作成されたファイルを全て削除します。

(1) インストールの手順

以下の手順でパソコンに本ツールに必要なファイル、動作環境を作成します。

1. パソコンを起動後に本ツールのCD-ROMをドライブに挿入して下さい。
2. エクスプローラーでインストールCDを開き、setup.exeを実行して下さい。

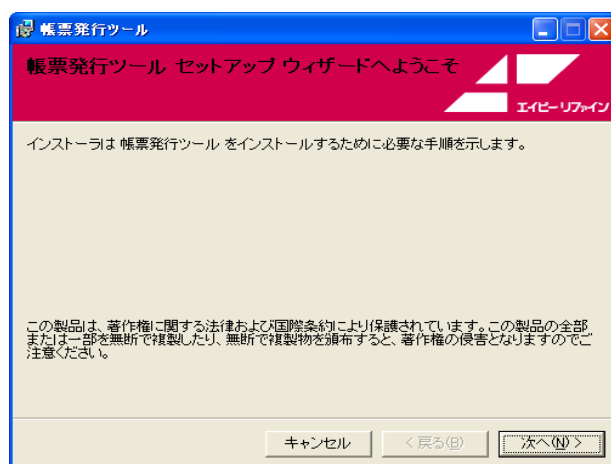


図2-1. セットアップ画面

3. セットアップ画面の手順に従って操作を行って下さい。
操作：ディスク領域の確認
インストール対象とするパソコンのユーザーを選択

(2) アンインストールの手順

パソコンから本ツールを削除する場合は以下の手順で行って下さい。

1. コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を起動します。
2. 一覧から「帳票発行ツール」を選択して下さい。
3. 「削除ボタン」を押下してアンインストールして下さい。

(3) ツールの再インストール

何らかの原因によりツールを再度インストールする場合は、以下の手順で行って下さい。

1. アンインストール（（2）の手順）を行う。
2. インストール（（1）の手順）を行う。

3. 動作環境の設定

本ツールは、設定ファイルの各項目でツールの動作環境を設定します。

(1) 設定ファイル

以下の設定ファイルから各設定項目を読み込みます。

- ・通信/プリンタ設定 (ApTools.config)
- ・ツール環境設定 (SystemInfo.xml)

(2) 設定の変更方法

以下の手順で設定ファイルの内容を変更します。

設定を変更した場合はツールを再起動して下さい、変更内容は次回から有効になります。

1. スタートメニューのすべてのプログラムから「TOTAL」→「帳票発行ツール Ver. 1.1」→「環境設定」を選択して下さい。設定画面が表示されます。(図3-1.)参照。

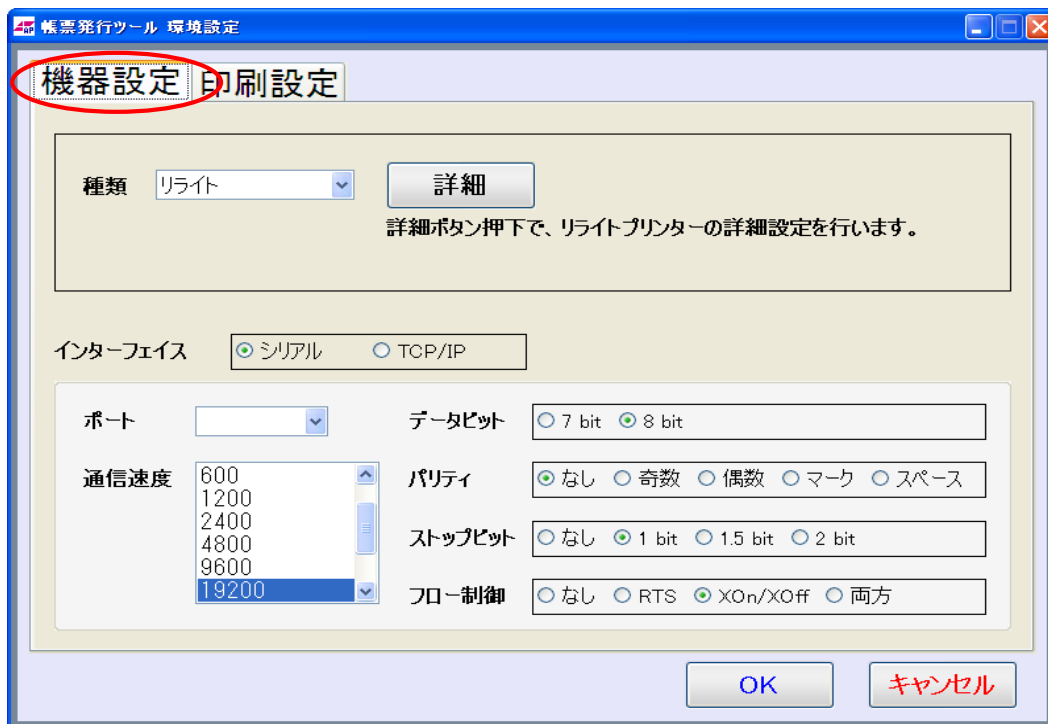


図3-1. 帳票発行ツール 環境設定画面 (機器設定ページ)

2. 機器設定

- ・設定対象のプリンタ種類の選択、機器との通信方式を設定します。
※Windowsプリンタの場合、機器設定は不要です。

[設定内容]

設定項目	設定内容	
種類	設定対象のプリンタ種類を選択して下さい。 ・Windows ・リライト ・サーマルラベル ・モバイル	
インターフェイス	プリンタとの通信方法を選択して下さい。 ・シリアル ・TCP/IP	
シ リ ア ル	ポート	プリンタを接続しているポートを選択して下さい。
	通信速度	プリンタの通信設定に合わせて下さい。
	データビット	
	パリティ	
	ストップビット	
フロー制御		

設定項目		設定内容
T C P / I P	接続先アドレス	プリンタのIPアドレスを入力して下さい。
	接続先ポート	プリンタのポート番号を入力して下さい。
	プロトコル	TCP/IPのトランスポート層を選択して下さい。 ・ tcp ・ upd

・リライトカードプリンタの詳細設定

リライトカードを印刷する際の印刷濃度、カードの排出方法を設定します。

[設定内容]

設定項目	設定内容
印字濃度	「-9」～「9」の範囲で指定 ※印字濃度は機器のディップスイッチで設定した濃度に対して調整を行います。 実際の濃度は、機器設定値との和になります。
排出方向及び 消去設定	0：印字後、順方向に排出 1：消去後、スタート位置に戻って印字、順方向に排出 2：消去後、スタート位置に消去しながら戻って印字、順方向に排出 3：消去しながら印字、順方向に排出

・サーマルラベルプリンタの詳細設定

ロール紙のカット間隔、リボンでの印字方法などの詳細項目を設定します。

[設定内容]

設定項目	設定内容
発行枚数	サーマルラベルプリンタ設定項目につきましては機器マニュアルの「発行コマンド [ESC]XS」を参照して下さい。
カット間隔	
センサー種別	
発行モード	
発行スピード	
リボン	
タグローテーション	
ステータス応答	

・Windowsプリンタの詳細設定

Windowsプリンタでの印刷は、パソコンにインストール済みで通常使うプリンタに設定されたプリンタドライバから印刷を行います。

詳細設定の変更は、通常使うプリンタのプロパティで行って下さい。

3. 印刷設定

本ツールで印刷する為の動作環境の設定を行います。
環境設定の「印刷設定」タブを選択すると設定ページ(図3-2.)を表示します。

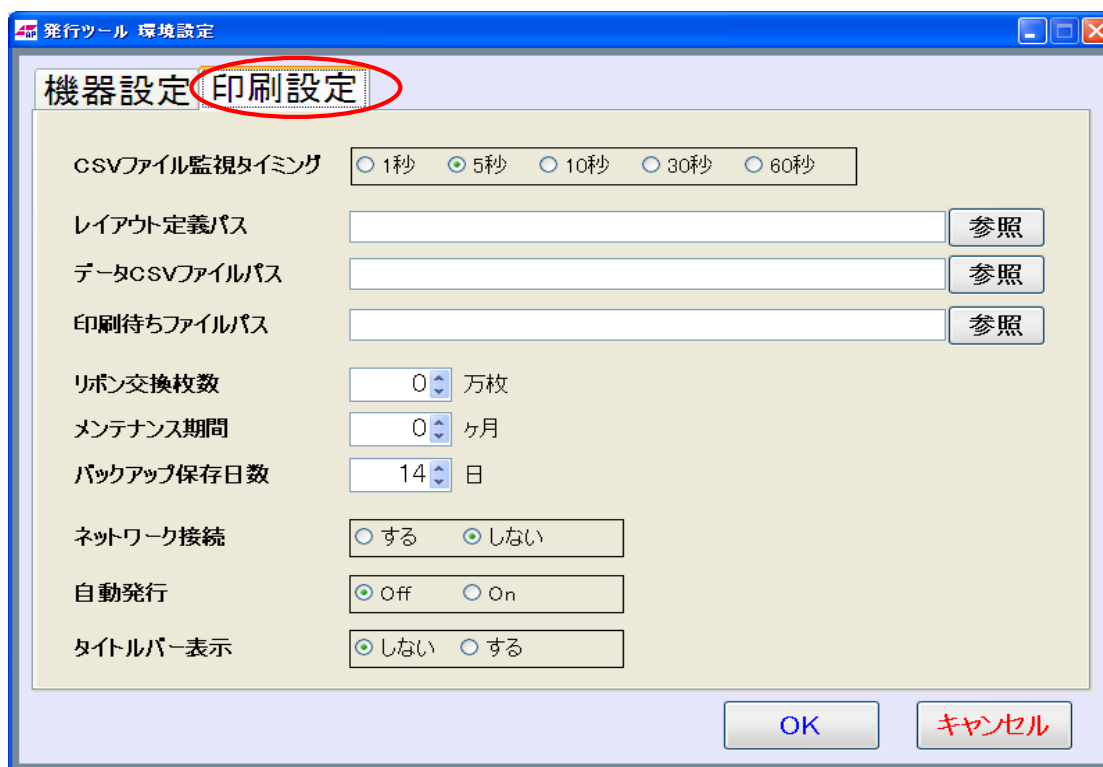


図3-2. 帳票発行ツール 環境設定画面 (印刷設定ページ)

[設定内容]

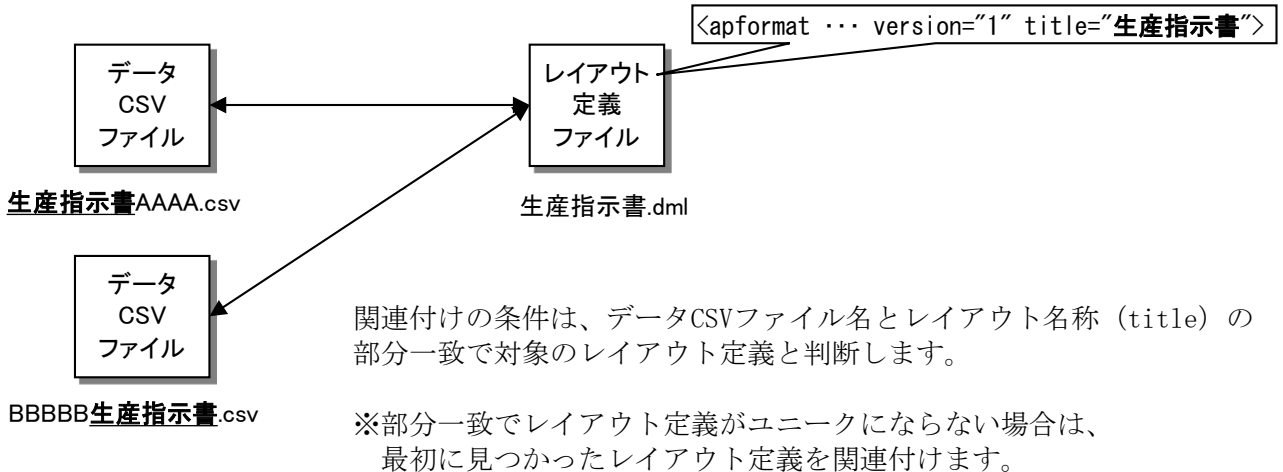
設定項目	設定内容
CSVファイル監視 タイミグ	指定されたフォルダに印刷データのCSVファイルが存在するかを確認する間隔を指定します。
レイアウト定義パス	印刷用のレイアウト定義ファイル (*.dml) が保存されているフォルダを指定します。 このフォルダに保存されているレイアウト定義に対応するデータCSVファイルのみが印刷対象となります。
データCSVファイルパス	印刷用のデータファイル (*.csv) を保存するフォルダを指定します。
印刷待ちファイルパス	データCSVファイルを読み込み後、印刷待ちの状態となっているファイルを保存するフォルダを指定します。 このフォルダを参照する事で他のパソコンからでも印刷状況が把握できます。
ヘッド交換枚数	サーマルヘッドの交換時期を通知するための判断基準枚数を指定します。 交換までの枚数は機器、印刷内容により異なります。
メンテナンス期間	機器のメンテナンス時期を通知するための期間を指定します。
バックアップ保存日数	データCSVファイルの保存日数を指定します。 指定できる範囲は、「1~14」
ネットワーク接続	LANネットワークへの接続監視を行うかを指定します。
自動発行	本ツール起動時の自動発行On/Offのデフォルトを指定します。
タイトルバー表示	本ツール画面のタイトルバー表示を指定します。

(3)印刷イメージの作成

◆レイアウト定義との関連付け

ツールを起動すると設定ファイルで指定したデータCSVファイルパスを定期的に参照します。データCSVファイルがある場合、レイアウト定義に対応したファイルかをチェックして印刷待ち状態にします。

《データCSVファイルとレイアウト定義の関連付け方式》



◆印刷待ち状態

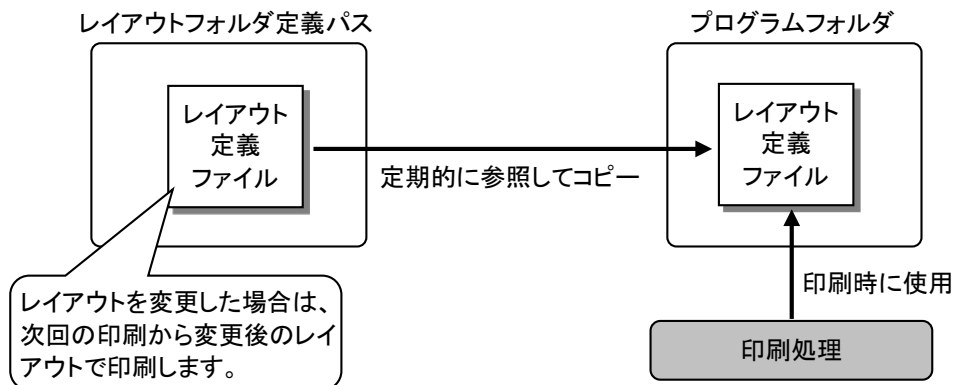
読み込んだデータCSVファイルはファイルの更新日時順に印刷待ち状態になります。レイアウト定義が無いデータCSVファイルは印刷対象外となり印刷待ちにはなりません。

※データCSVファイルが印刷待ちの状態でも本ツールを終了した場合、印刷待ちのデータCSVファイルは削除されます。再度印刷するには、受付履歴から対象のデータCSVファイルを選択して印刷して下さい。

◆レイアウト定義ファイル

印刷に用いるレイアウト定義ファイルは本ツールの環境設定ファイルのレイアウト定義パスに指定されたフォルダを定期的に参照して取得します。レイアウトフォルダ定義パスに指定されたフォルダにレイアウト定義ファイルがあれば、本ツールのプログラムフォルダ内にコピーして印刷時に使用します。

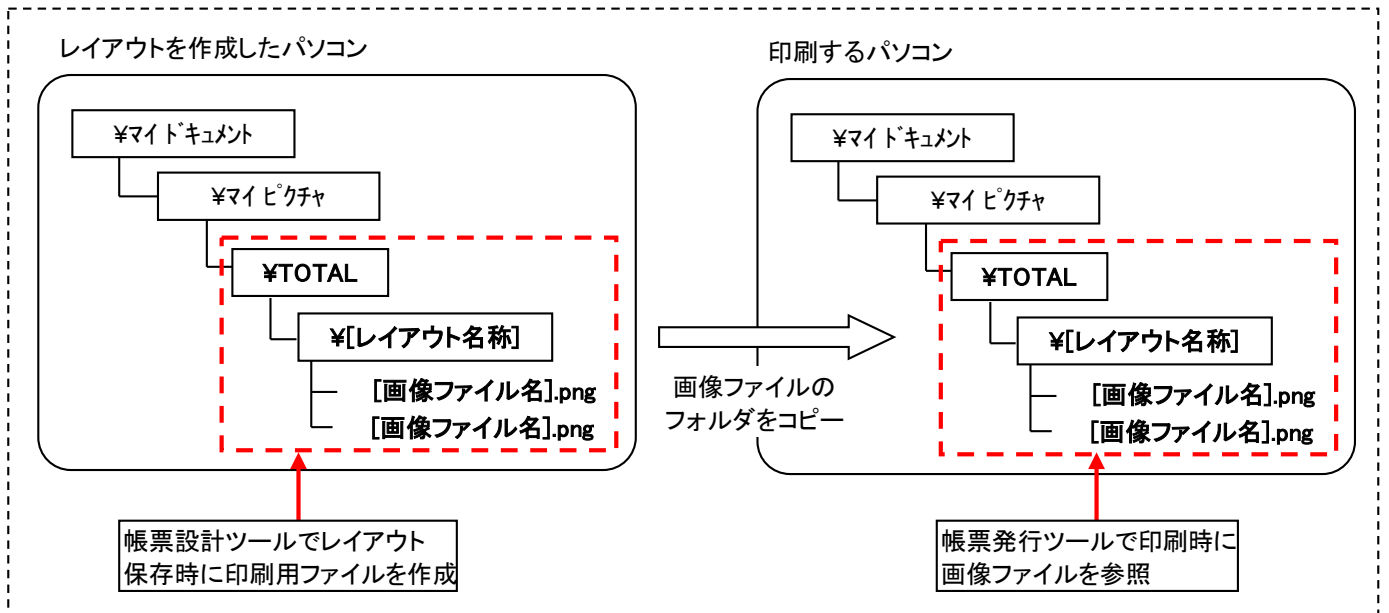
※プログラムフォルダ：本ツールをインストールしたフォルダ



※プログラムフォルダ：本ツールをインストールしたフォルダ

(4) 画像ファイルの配置

イメージオブジェクトが含まれた帳票を印刷するには、帳票設計ツールで作成した印刷用の画像ファイルを下記のフォルダに配置して下さい。



※印刷時に画像ファイルが参照できなかった場合は、イメージオブジェクトは印刷されません。

4. 起動方法・画面操作

(1) 起動方法

本ツールを起動する方法は以下の手順で行って下さい。

- ◆デスクトップのショートカット(図4-1.)をダブルクリックして起動します。
- ◆スタートメニューのすべてのプログラムから「TOTAL」→「帳票発行ツール」→「帳票発行ツール Ver. 1.1」を選択して起動して下さい。



図4-1. ショートカット

本ツールを起動すると、印刷モニター画面が表示されます。

(2) 印刷モニター画面の操作方法

[画面イメージ]

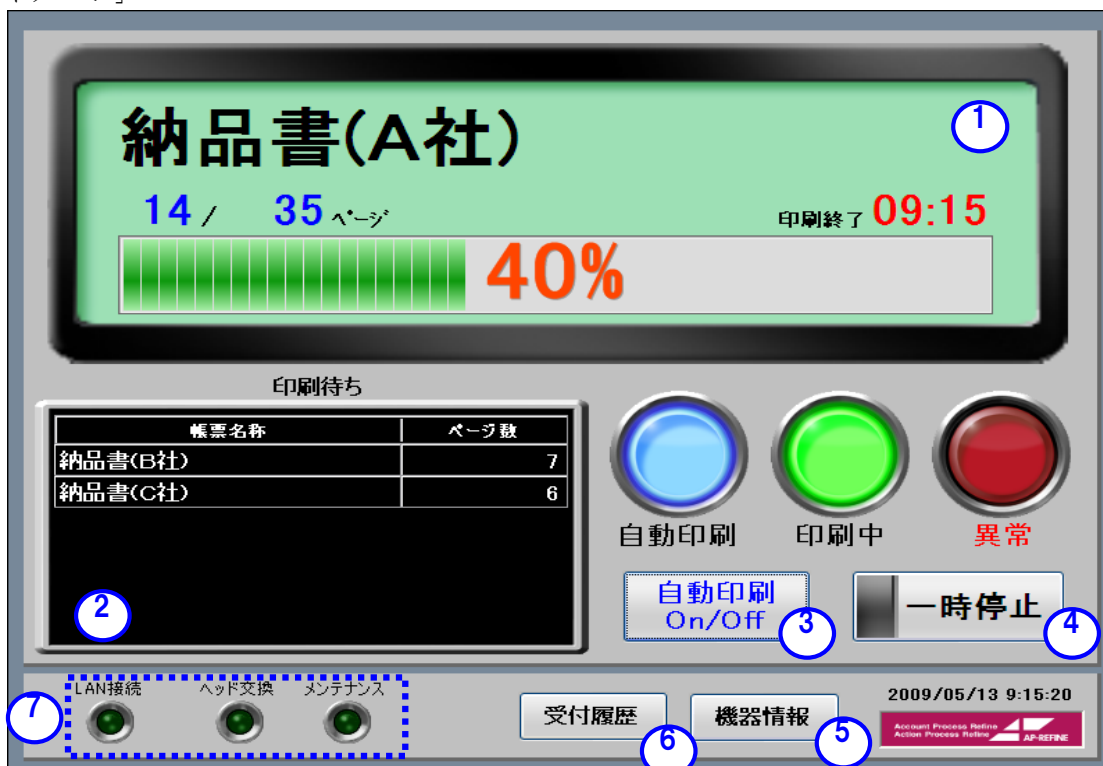


図4-2. 印刷モニター画面

[機能]

- ・印刷の進捗状況を表示
- ・自動印刷のOn/Offを切り替え
- ・印刷待ちのデータを表示 (6件まで表示)
- ・印刷の一時停止

[操作方法]

①印刷の進捗表示

現在プリンタから印刷しているデータの情報を表示します。

- ・帳票名称：読み込んだデータCSVファイルのファイル名 (拡張子を除いたファイル名)
- ・ページ数：印刷済みページ/全ページ数
- ・印刷終了：全ページ数より概算で表示

②印刷待ちデータの表示

データCSVファイルを読み込み、印刷待ちになっているデータを一覧表示します。

- ・印刷待ちデータを6件まで表示します。
- ・一覧 (全体) をクリックすると別画面で印刷待ちデータを全て表示します。

③自動印刷の切り替え

自動印刷ランプ(図4-3.)がOnの場合は、印刷待ちの帳票を順次プリンタに送ります。

- ・ Onの場合：自動印刷ランプを点灯、順次データを印刷
- ・ Offの場合：自動印刷ランプを消灯

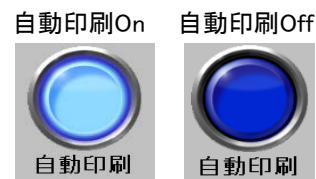


図4-3. 自動印刷ランプ

④印刷の一時停止

一時停止の状態にすると現在印刷中のデータをページ単位で停止して印刷情報表示部が黄色表示になります。

一時停止は印刷中のみ有効となります。印刷中でない場合は機能しません。最終ページ印刷中に一時停止ボタンが押された場合は、一時停止の状態にはならず、自動印刷がOffになります。自動印刷がOffになる事で印刷を停止します。

※Windowsプリンタでの印刷時、受付履歴からの印刷時は印刷の一時停止ができません。

⑤機器情報の表示

接続しているプリンタのステータス情報を確認する画面を表示します。

以下の条件に合致する場合は表示しません。

- ・ 印刷中
- ・ 自動印刷On

⑥受付履歴の表示

本ツールが受け付けたデータCSVファイルの一覧を表示します。

自動印刷がOffの場合は、履歴のデータからページを指定して印刷することが出来ます。(履歴のデータは受け付け後2日間保存します。)

⑦ステータス通知

本ツールの稼働状況をランプで通知します。

- ・ LAN接続 LANネットワーク接続がある場合は接続状況を通知します。

接続 : ランプが緑色で点灯

非接続 : ランプが赤色で点灯

LANネットワーク接続無し : ランプが消灯

- ・ ヘッド交換 印刷枚数が環境設定ファイルの「ヘッド交換枚数」を超過していないか通知します。

90%未満 : ランプが消灯

90%以上100%未満 : ランプがオレンジ色で点灯

100%以上 : ランプが赤色で点灯

未設定 : ランプが消灯

※ヘッド交換枚数の設定は接続するプリンタの仕様により異なります。プリンタの説明書を参照して設定して下さい。

- ・ メンテナンス 環境設定で指定した「メンテナンス期間」に対し、前回メンテナンス日からの稼働日を加算して経過状態を通知します。

1ヶ月以上前 : ランプが消灯

1ヶ月前 : ランプがオレンジ色で点灯

期間超過 : ランプが赤色で点灯

未設定 : ランプが消灯

(3)印刷待ち一覧画面の操作方法

[画面イメージ]



図4-4. 印刷待ち一覧画面

[機能]

- ・印刷待ちデータの表示
- ・選択印刷
- ・印刷待ちデータの削除
- ・印刷順序の並べ替え

[操作方法]

①印刷待ちデータの表示

印刷待ちになっている全ての帳票を一覧に表示します。

②印刷

一覧で選択している帳票を印刷します。

③削除

一覧で選択している帳票を削除します。

削除を行うとデータCSVファイルも削除しますのでご注意ください。

④印刷順序の並べ替え

一覧で選択している帳票の印刷順序を並べ替えます。

自動印刷がONの場合、印刷順序は一覧の上から順となります。

上移動：選択された帳票の印刷順を1つ上に移動します。

下移動：選択された帳票の印刷順を1つ下に移動します。

⑤閉じる

本画面を閉じます。

(4) 機器情報画面の操作方法

[画面イメージ]

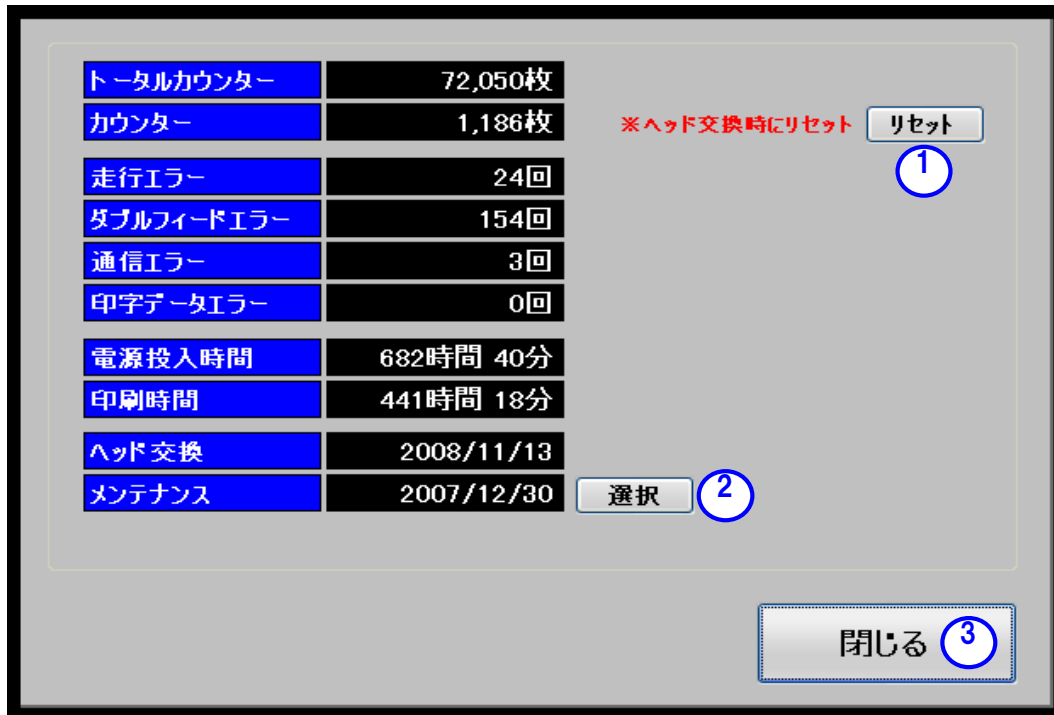


図4-5. 機器情報画面

[機能]

- 機器のステータスを表示
 - [トータルカウンター] 本ツールで印刷した総ページ数
 - [カウンター] ヘッド交換後に印刷したページ数
 - [走行エラー] 紙詰まり等の用紙送り関連の総エラー件数
 - [ダブルフィードエラー] 用紙の2枚送りの総エラー件数
 - [通信エラー] 機器の通信仕様以外のコマンド受信エラー件数
 - [印字データエラー] データ不正により発生したエラー件数
 - [電源投入時間] 機器（本ツール）の総稼動時間
 - [印刷時間] 印刷に要した総時間
 - [ヘッド交換] 前回ヘッド交換を行った日付
 - [メンテナンス] 前回メンテナンス作業を行った日付
- ヘッド交換、メンテナンス日付の設定

[操作方法]

- ①カウンターのリセット
ヘッド交換を行った際に「リセットボタン」を押下して下さい。
カウンターの値が0に戻ります。次のヘッド交換までカウントアップします。
- ②メンテナンス日付の選択
機器のメンテナンスを実施した日付は「選択ボタン」を押下して表示されるカレンダー(図4-6.)で日付を選択します。
- ③閉じる
本画面を閉じます。



図4-6. カレンダー

(5) プリンタエラー時の操作方法

本ツールに接続されている機器で印刷中に異常が発生した場合はエラー画面を表示します。エラー画面のメッセージにより機器のエラー原因を解除して「印刷再開ボタン」、または「印刷リセットボタン」を押下して下さい。



図4-7. プリンタエラー画面

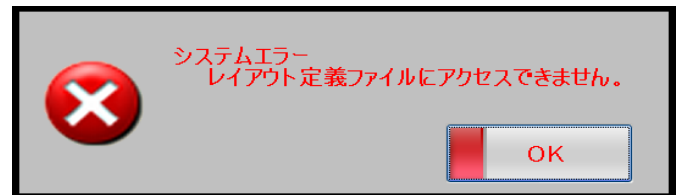


図4-8. システムエラー画面

◆エラー種類

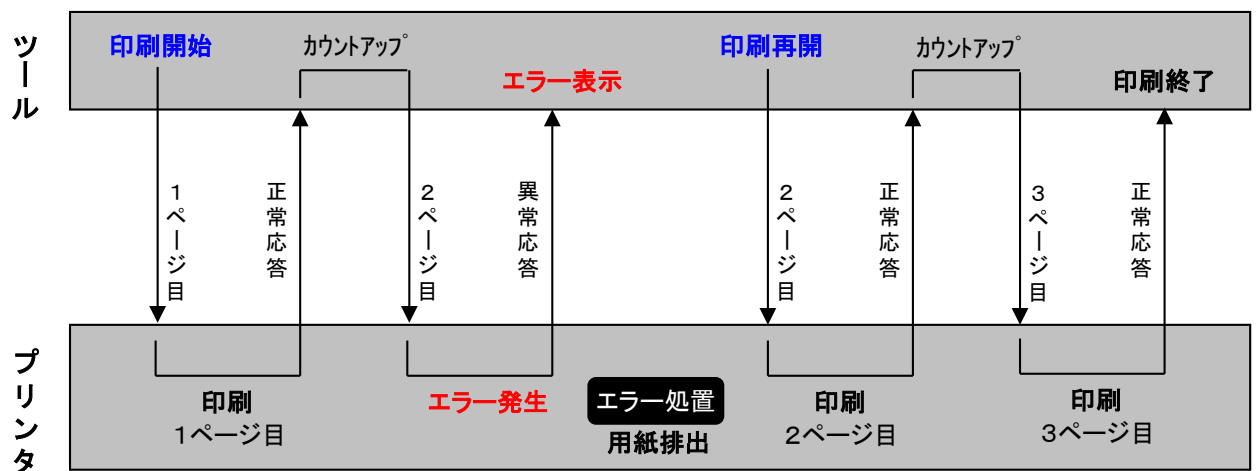
分類	コード	メッセージ内容/原因
ドライバ	001-0001	「プリンタドライバが正常に動作していません。」 プログラムが予期せぬ原因により印刷できない。
	001-0002	「通信設定に誤りがあります、設定を変更して下さい。」 通信設定ファイルの内容に誤りがある。
	001-0003	「印刷するデータがありません。」 データCSVファイルから正しく印刷データが作成できなかった。
	001-0004	「定義ファイルに誤りがあります。」 レイアウト定義ファイルの内容に誤りがある。
データ	101-0001	「印刷するデータが不正です、印刷できません。」 CSVデータの書式が誤っている。
通信	201-0001	「機器との通信初期化に失敗しました、機器をリセットして下さい。」 機器との接続に失敗、機器の初期化ができない。
	201-0002	「機器からの応答がありません、機器をリセットして下さい。」 通信設定に誤りがあるか、機器との接続に異常がある。
制御	202-0001	「印刷に失敗しました。」 送信した印刷コマンドが誤っている。
機器	301-0002	「機器が正常に動作しませんでした。」 カッターなどの装備品が正常に動作していない。
センサー	302-0001	「センサーが異常を感知しました。」 ※メディアの印字品質が低い。(オプションセンサー装備時)
補給	401-0001	「給紙エンプティです、用紙を補給して下さい。」 印刷時にホッパー部に用紙が無くて給紙ができない。
	401-0002	「用紙の補給ができません。」 ホッパー部からの給紙でエラーが発生した。
補給品	401-0003	「インクリボンに異常があります、機器を確認して下さい。」 リボンが切れたか、巻き取り異常が発生した。
走行	402-0001	「紙詰まりです、用紙を排出して下さい。」 機器で用紙の詰まりが発生した。
	402-0002	「ダブルフィード(2枚送り)です、用紙を排出して下さい。」 給紙で用紙が2枚送られた。
	402-0003	「機器のヘッドを交換して下さい。」 印字ヘッドが断線。
	402-0004	「機器が加熱しています、印刷をしばらく中止して下さい。」 印字ヘッドが過熱状態。

分類	コード	メッセージ内容/原因
リード ライト	403-0001	「RFIDが読み込めません。」 ※RFIDタグからの読み込みが失敗。(RFIDリーダライタ搭載機種のみ)
	403-0002	「RFIDに書き込みできません。」 ※RFIDタグへの書き込みが失敗。(RFIDリーダライタ搭載機種のみ)
印刷	403-0003	「印字データが不正でした。」 設定範囲外の印字データが指定された。

◆印刷再開時の処理

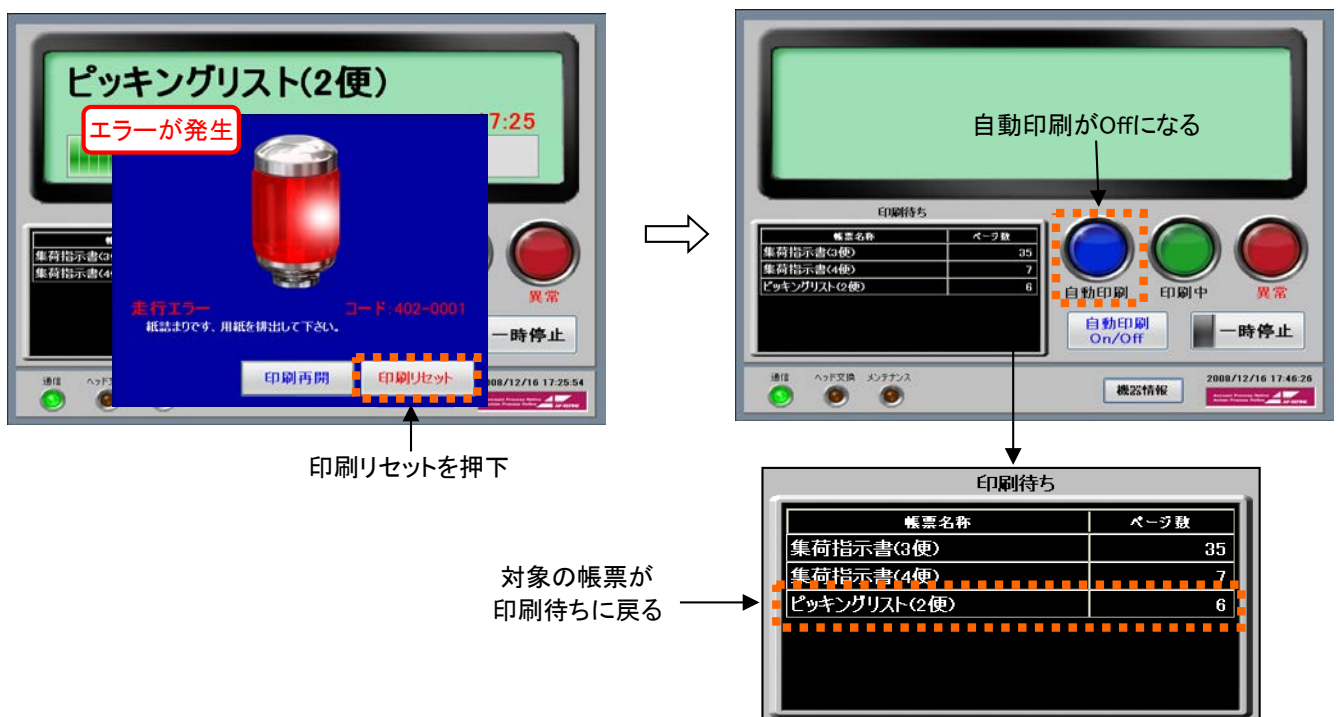
印刷再開は、機器でエラーが発生した時に送信中だったページから印刷を再開します。接続している機器の特性、エラーの原因により再開時にエラー前に印字したページと重複して印刷が始まる場合があります。印刷再開時にはページの確認を行って下さい。

【印刷再開時のイメージ】



◆印刷リセット

機器でエラーが発生して電源を入れ直す必要がある場合などは印刷を中断して最初のページから再印刷を行って下さい。「印刷リセットボタン」で印刷中のデータが印刷待ちの状態に戻ります。



(6) 受付履歴からの印刷操作方法

本ツールがデータCSVファイルを受け付けたタイミングでバックアップのファイルを作成します。印刷済みの帳票を再印刷する場合や、ツールを終了した事により削除された印刷待ち帳票の印刷ができます。

バックアップの帳票名称はデータCSVファイルの名称+受付日時で作成します。

受付履歴画面の表示

印刷モニター画面の「受付履歴ボタン」を押下して下さい。

但し、印刷中、自動印刷Onの状態では押下した場合は画面表示しません。



一覧から印刷する帳票を選択して下さい、開始ページ・終了ページの指定により部分印刷ができます。

対象とする帳票、ページを指定後に「印刷ボタン」を押下して下さい。

帳票発行ツール

2014年4月1日

発行
株式会社エイピーリファイン
〒472-0056
愛知県知立市宝2丁目6-16 宝BOX